

i-Constructionの普及・促進

H28.4 i-Construction委員会 報告書より

○広報戦略

i-Constructionを推進していく上では、賃金水準や安全が向上するとともに、休暇も取得できるなど建設現場が魅力的に変わって行くことを、広く周知する必要がある。

それに伴い、建設現場の仕事がこれまでよりも魅力的になっていくことを打ち出し、若者や女性、高齢者など、多くの方々に建設産業を目指してもらえるようになることが重要である。近年では、「ドボジョ」や「けんせつ小町」など、建設現場の魅力を表現するネーミングが生まれており、そのことが更なる女性技術者・技能労働者の入職を後押ししている。このように、i-Constructionの推進により魅力的に変わった、新たな建設現場での働き方を表現するような肩書き等のネーミングを考えることも効果的である。

また、i-Constructionの効果について、国民の理解を得ることも重要である。このため、i-Constructionの推進により、より早く、効率的にインフラが整備・維持管理されることや、地域の建設企業が元気になり地方創生につながること等、その効果を広く国民に公表し、情報共有していく取組も必要である。

i-Construction大賞について

建設現場の生産性向上（i-Construction）に係る優れた取り組みを表彰し、ベストプラクティスとして広く紹介することにより、i-Constructionに係る取り組みを推進することを目的に、今年度、「**i-Construction大賞**」を創設

○表彰対象

国土交通省・内閣府沖縄総合事務局が発注し、前年度に完成した工事を実施した団体に対して表彰

○表彰の種類

ア) 国土交通大臣賞 [原則1件] イ) 優秀賞 [最大10件程度]

⇒今秋、受賞者を選考し発表予定

○取り組み事例



UAVによる施工前の測量



M Cブルドーザ法面整形



UAV測量社内講習会



レーザースキャナー測量



M Cブルドーザ敷均し



施工管理・安全管理に活用

i-Constructionロゴマークについて

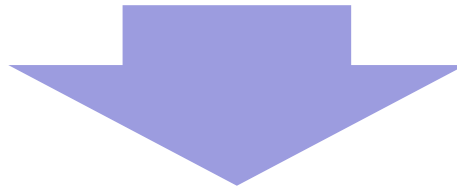
課題

- 「i-Construction」により、建設現場が従来の3Kのイメージを払拭し、新3K（給与が良い・休暇がとれる・希望がもてる）の魅力ある現場に劇的に変わっていくためには、建設業界が一丸となることはもちろん、業界を超えて「i-Construction」という取組が社会の話題となっていく必要がある。

ロゴマークの目指すもの

- あらゆる建設現場でロゴマークが掲示されることで、革新的テクノロジーによって進化しつつある建設現場の、先進的で躍動感溢れる印象を社会に提示し、今までのイメージを払拭して、新3Kの評価を獲得することを目的とする。
- 同時に、現場や関係者の誇りとモチベーションをつくりだし、関係者全員が一丸となって、日本を次のステージへと押し進める原動力のシンボルとする。

- i-Constructionロゴマーク検討会議を開催し、田中委員を中心にデザイナー、コンセプト、デザイン仕様、使用シーン等について検討



- i-Constructionロゴマーク検討会議での議論を踏まえ、コンセプト等を定めた上で、ロゴマーク案を作成

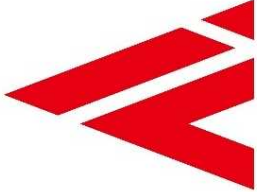





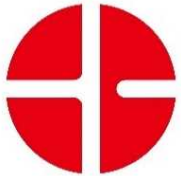
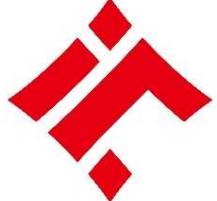

デザインの考え方

- 新たな底力=建設現場を、日本の次の姿を作る‘チーム’に見立てようと試みた。
- それはよくマネージメントされたスポーツチームのようなイメージで、すべての関係者が大きな目標に向かって一丸となって取り組む、ひとつのチームとなるように願ってデザインした。
- 新しさが際立っているようだが、実は普遍的に活用できるデザインで、いつまでも建築現場の力になれるように願ったデザインとした。



デザインメッセージ

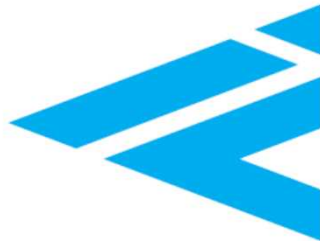
**革新的テクノロジーが、日本の建設現場を劇的に変えていく。
その原動力が、日本を次のステージへと押し進めていく。**

<p>A</p>  <p>i-Construction</p> <p>矢印をモチーフにした‘iC’で先進性と推進力を表現。直線で構成されたエレメントは洗練、スマートさを演出。赤は日本、誇りをイメージ。</p>	<p>B</p>  <p>i-Construction</p> <p>矢印をモチーフにした‘iC’で先進性と推進力を表現。直線は洗練とスマートさを骨太なエレメントは建設現場の力強さを演出。</p>	<p>C</p>  <p>i-Construction</p> <p>建設現場の劇的なテクノロジーの変化が日本を次のステージへと押し進めていく。その変化と拡がりを直線で構成した波状で表現。</p>
<p>D</p>  <p>i-Construction</p> <p>1点に向かうパスで一丸となるイメージを躍動感あるシルエットが先進性と推進力を表現。</p>	<p>E</p>  <p>i-Construction</p> <p>建設現場の劇的なテクノロジーの変化が日本を次のステージへと押し進めていく。その拡がりとスケール感をオーバル型の‘iC’で表現。</p>	<p>F</p>  <p>i-Construction</p> <p>矢印をモチーフにした‘iC’で先進性と推進力を表現。スポーティーなシルエットが革新的テクノロジーのスピード感と躍動感を演出。</p>
<p>G</p>  <p>i-Construction</p> <p>日本を変えていく原動力と日本の誇りを日の丸をイメージさせる正円の‘iC’で表現。</p>	<p>H</p>  <p>i-Construction</p> <p>魅力 = 輝きをダイヤ型で表現。‘iC’は従来の建設現場のイメージを覆す洗練されたラインに。</p>	<p>I</p>  <p>i-Construction</p> <p>‘iC’を洗練されたエレメントで構成し、関係者全員が一丸となる様を表現。4つのエレメントは第4次産業革命を象徴。</p>



i-Construction

赤色：日本と誇りをテーマに、情熱と力強さをイメージ。小さくても一番目立つ色彩。



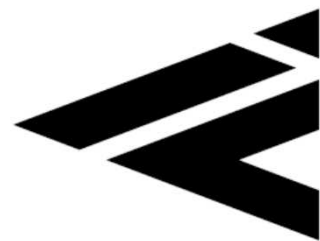
i-Construction

青色：先進をテーマに、洗練感と端正なイメージ。刷新感を印象付け。



i-Construction

水色：日本の空の色からイメージし、スケール感をテーマに。

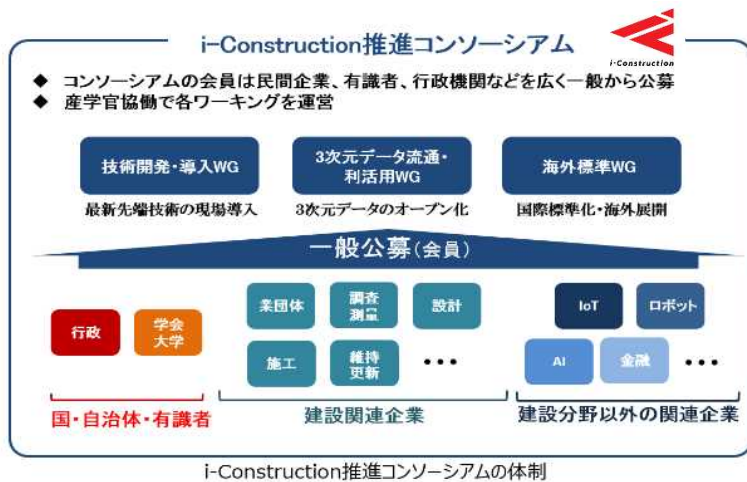


i-Construction

黒色：基本は色を使用するが、色を使えない印刷環境などの場合は、黒で表現。

使用シーン案

- ウェブサイト、建設機械やUAV等、ヘルメットや作業着、建設現場の看板や仮囲い等、名刺、ポスター、チラシ、バッジ、キーホルダー、クリアファイル etc



	国土交通省	
国交 太郎		
Kokkou Taro		
〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-8 Tel: (03)5253-8111 (内線〇〇〇) Fax: (03)5253-〇〇〇 E-mail: kokkou-ic@mlit.go.jp		
<small>Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism</small>		

i-Construction推進コンソーシアム企画委員会	10月5日
------------------------------	-------

発表事項: ロゴマーク作成の経緯、コンセプト、配色等の提案趣旨
ロゴマーク 9案、アンケート方針、アンケート時の判断基準 など



WG会員 一次アンケート	10月中旬
--------------	-------

WG会員にアンケート → 3つの判断基準毎※に最も好ましいロゴマーク案を選定
各判断基準で第1位となったロゴマーク案3つを二次アンケートへ
※ 判断基準) “先進感”、“推進力”、“刷新力”



WG会員 二次アンケート	11月上旬
--------------	-------

WG会員にアンケート → 一次アンケートで選定された3案を1つに絞り込み



← 利用規約の作成

ロゴマーク公表、使用開始	12月中旬
--------------	-------

- 先進感** 革新的テクノロジーを背景とした先進性
例)「新しい」「スマートな印象である」

- 刷新力** 従来のイメージを変え、
現場をスマートで魅力的な印象に変える刷新力
例)「印象が変わった」

- 推進力** 日本を次のステージに押し進める力強さ
例)「頼もしい」「アクティブな印象である」